

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年8月13日

施設名	香北青少年の家	所管課名	教育委員会生涯学習課
-----	---------	------	------------

## 1施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関する事</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する事</li> <li>・食事の提供及び宿泊に関する事</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成19年度主催事業&gt;                      子どもフェスティバル(1泊2日) いきいき合衆国で遊ぼう                      青年リーダー研修(前期・後期)                      地域子ども交流会(1泊2日)                      子供フェスティバル忍者大会(1泊2日)                      夏休み、クラフトづくり体験</p>
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健康的な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡ 施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km
職員体制	職員:10名 パート職員:2名 合計:12名 (平成19年5月末時点)

## 2収支の状況

		18年度(決算)	19年度(決算)	20年度(予算)
収入	県支出金	32,532,714	34,184,000	34,184,000
	事業費収入	712,340	674,720	1,363,000
	使用料	3,109,480	2,754,980	3,109,480
	収入計 (a)	36,354,534	37,613,700	38,656,480
支出	事業費	1,131,505	1,145,553	1,405,000
	管理運営費	10,379,213	11,353,709	9,151,000
	人件費	20,151,246	20,699,547	23,298,000
	消費税	1,583,090	1,659,911	1,693,000
	支出計 (b)	33,245,054	34,858,720	35,547,000

### 3 利用実績

#### (1) 宿泊者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均
人数	8,303	8,633	9,398	9,234	8,429	8,799

#### (2) 利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均
団体数	203	213	208	214	168	201

#### (3) 利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均
人数	17,566	18,035	19,160	17,235	16,757	17,751

### 4 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主催事業の内容について、活動の効果や目標を職員間で十分に議論し改良を行った。特に人気があり、20年間続いている忍者大会は、専用のアンケート調査を基に分析を行い、活動内容やタイムスケジュールを改良し満足度を高める努力を行っている。</li> <li>○利用者に次回も利用したいと思っていただくために、“誰からも好感のもてる対応” “利用者への細かな目配り・気配り・手配り” “笑顔・テキパキ・誠実・スマートに・臨機応変に・勉強” に職員全員で取り組んでいる。</li> <li>○地域の団体やボランティア団体に事業に協力していただくなど、連携・融合を図る取り組みを行っている。</li> </ul> <p>(昨年度からの取り組み)</p> <p>平成18年度から大学生を中心とするボランティアネットワークを作り上げ、青年リーダー研修会に参加し体験学習法の理論を学んでいる。そして、このメンバーは忍者大会の指導員として学んだことを実践し、事後には振りかえりの研修を行っている。</p> <p>これまで2年間、繰り返し勉強してきたことで参加者の活動に取り組む意欲が高まってきており、今後は忍者大会に限ることなく活動を広げていくことを考えている。そのため、話し合いの場としてボランティアサークルを結成している。</p>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宿泊訓練では、事前の研修計画(研修相談)の打ち合わせを、2～3時間行い、研修中の施設職員と学校教員の役割分担を決めて、目的が達成できるように学校と協同した取り組みを行っている。</li> <li>○部屋の割り振り、入浴時間の調整、食事メニューや時間の変更など利用者の年齢や性別に応じて希望に添うことができるよう配慮を行っている。</li> <li>○利用者の要望に合ったプログラムを提供できるように、資質・指導力の向上を目指した研修(アドベンチャープログラム等)に職員を参加させている。</li> </ul>

③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年の宿泊・食事・研修・野外活動等における安全の確保を第一として運営している。</li> <li>○繁忙期には、勤務ローテーションの組み方を工夫し、特定の職員に負担がかからないようにしている。</li> <li>○平成20年度に向けて、主催事業のタイムスケジュールの見直しを行い職員の負担を減らすように努めている。</li> <li>○衛生面の管理については、本年度も徹底的に注意を払い取り組んでいる。</li> </ul>
④利用実績	<p>○平成18年度と比較して、利用者が478人、宿泊者が805人減少し2年連続の減少となった。施設内での飲酒を認めないことを徹底したことにより、大学生と社会人の利用者が減少している。</p> <p>平成19年度主催事業参加者数      5事業 延べ831人  平成20年度主催事業募集予定数    10事業 延べ1,008人</p> <p>(注:平成20年度は青少年の利用者増を目指し、閑散期に次の5つの新規事業を開催する予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスリースづくり体験 12月</li> <li>・日帰りだよ！親子忍者大会体験 12月</li> <li>・門松づくり体験 12月</li> <li>・やきものづくり(陶芸)体験 12月</li> <li>・親子でアンパンマンミュージアムを楽しもう 1月</li> </ul>
⑤収支の状況	<p>○平成18年度と比較して、使用料収入は355千円の減収となった。これは、宿泊者数が減少したことが大きな理由と考えられる。  (宿泊料参考 中学生以下230円、青少年25歳未満400円、青少年以外790円)</p> <p>また、管理代行料については、修繕の増加や古くなったカーテンやスリッパを新規に購入したため予算額34,184,000円全額を支出した。</p>
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>事業計画のとおり管理運営されており、利用者サービスについても工夫や努力が見られた。特に、地域にあった独自性のあるプログラムを開発するなど、地域の方やボランティアとの連携に努めていることが高く評価できる。</p>

【評価の目安】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの